



浅間山

可児市立東可児中学校
令和7年2月20日発行

青春の証言 ～ 3年生のリアルストーリー ～

校長 村上 克



先日開催した「3年生と語る会」の様子を紹介します。この会では、3年生が中学校生活を振り返り、自分史を語ります。各自がプレゼンを準備し、嬉しかったこと、辛かったこと、頑張ったこと、落ち込んだことなど、多感な中学校生活を後輩の前で赤裸々に告白しました。

例えば、ある生徒は部活動での経験を語りました。初めは試合に出られず悔しい思いをしたが、毎日の練習を重ね、ついにレギュラーの座を勝ち取った時の喜びを共有しました。その努力と達成感、後輩たちにとっても大きな励みとなりました。

後輩たちは、1年後、2年後の自分を思い浮かべながら、先輩たちの話を聞き、頑張れるきっかけとなった心情などを質問しました。素朴な問いに対して、3年生は誠意をもって答え、そのやりとりは実に清々しいものでした。後輩たちの真剣な眼差しと、先輩たちの温かい言葉が交わされる瞬間は、まさに青春の1ページでした。

当日は、学校運営協議会も開催し、「これからご覧いただく3年生と語る会の姿は、本校が目指す生徒の姿です。」と話し、ご参観いただきました。

委員の皆様からは、『**3年生の発言や存在感が下級生にとって大きな道標となり、彼らの姿勢や考え方が後輩たちに良い影響を与えている**』との言葉をいただきました。

この会を通じて、学校全体の成長と連帯感が一層深まりました。また、未来への希望が感じられる、心温まるひとときとなりました。

